

町内のボランティアサークルななかまどの会（坂井千枝会長）が、7月19日特別養護老人ホーム幸楽園を訪れ、毎年恒例のタオル、雑巾の寄贈を行いました。

この日は、会員4人が同園を訪問し、タオル100本と雑巾100枚に加えて布製の手のひらサイズの猫のアクセサリー60個を寄贈。坂井代表が「これからも元気に過ごしてください。猫のアクセサリーもかわいがってください」と入居者の皆さんを激励し、吉山光子さんが「たくさんいただき



入居者の皆さんと記念撮影する
ななかまどの会のメンバー

ありがとうございます。今後もよろしくお願いします」とお礼の言葉を述べました。

ボランティアサークルななかまどの会幸楽園へタオルなどを寄贈

洞爺高校家庭科クラブ全国大会出場 研究発表と町をアピール



全国大会に向け役場を
訪問した洞爺高校生

昨年9月洞爺湖町で開催された北海道高校家庭科クラブ連盟研究大会で、二つの部門で最優秀賞を獲得し、全国大会出場を決めた洞爺高校生が、7月22日同大会を前に役場を訪問し、真屋町長に抱負を語りました。

昨年の大会では、ホームプロジェクト部（個人）で小林碧帆さん（3年）、家庭クラブ活動の部で同校の「ECOプロジェクト」がW受賞し、山梨県甲府市で開かれる第59回全国家庭クラブ研究発表大会の北海道代表を獲得しました。家庭クラブ会長の小野祐輔さん（3年）は、「全国大会では、活動報告のほか、洞爺湖町もしっかりアピールしてきました」と決意を述べました。

洞爺湖管工事業協会 ボランティアで温泉の公衆トイレを点検



公衆トイレを点検する
洞爺湖管工事業協会の会員

7月15日洞爺湖管工事業協会（斉藤昌隆会長）は、洞爺湖温泉にある公衆トイレの点検、無償修理のボランティア活

動を行いました。

観光客が増加するお盆休み前に毎年実施していて、同会加盟の8社の技術者10名が参加しました。

駅前棧橋前のログ風トイレや噴火記念公園駐車場、噴水広場駐車場の木造トイレなど8カ所を点検し、緩んだ水道管のパッキンを閉め直したり、水量の調節など行い、観光客が気持ちよく利用できるよう汗を流していました。



受賞した納豆を手にする中居社長

産で環境にやさしく安心な食品を応援する「ニッポンの食、がんばれ！」セレクション（主催同実行委員会）に羊蹄食

品（中居敏社長）の納豆5品が受賞しました。

同セレクションは、日本の食糧自給率の向上を狙い実施されているもので、同セレクションの受賞は、納豆食品関係では道内2社目。

道産大豆の使用など原料のこだわりのほか容器もリサイクル可能な新容器にするなど環境にも配慮していることなどが評価を高めました。

中居社長は「地産地消にこだわった安心安全な商品づくりが認められうれしい」と受賞を喜んでいました。

羊蹄食品の納豆5品 「ニッポンの食、がんばれ！」セレクション受賞